

オボムコイドを標的とした低アレルゲン鶏卵の開発

研究代表者：国立大学法人広島大学大学院
生物圏科学研究科助教 堀内浩幸

事業の内容

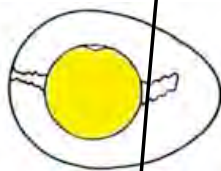
世界に先駆けたニワトリES細胞株の樹立など、これまでに確立した遺伝子改変ニワトリ作出のための基盤技術を活用して、鶏卵中で最もアレルゲン性の高い成分であるオボムコイドの遺伝子をノックアウトするか、あるいはオボムコイド遺伝子の一部を改変したニワトリを作出し、食物アレルギーやワクチン副反応を低減できる低アレルゲン鶏卵を開発する。

ただの卵じゃありません！

この間は、よそのニワトリ守り。。。。！

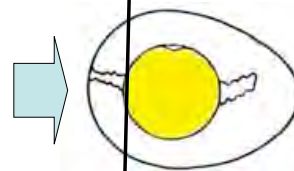
ニワトリの遺伝子改変技術

低アレルゲン鶏卵の利用方法



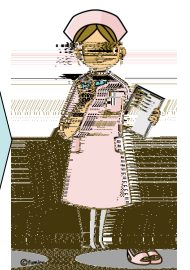
加工鶏卵
食品への応用

低アレルゲン
食品の開発



ワクチン生産
への応用

低アレルゲン鶏卵
産生ニワトリ



副反応が軽減
したワクチン